

研究実施のお知らせ

2023年3月14日 ver.2.1

研究課題名

HBV 感染者と HCV 感染者の拾い上げの試み

研究の対象となる方

①2019年12月1日から2022年3月31日に当院でHBs抗原あるいはHCV抗体検査を受けた方（ver.1.0にて情報公開分。情報利用停止の申し出終了）

②2022年4月1日から2027年3月31日に当院でHBs抗原あるいはHCV抗体検査を受けた方（ver.2.1にて情報利用停止の申し出受付分）

研究の目的・意義

島根大学医学部附属病院は、島根県における唯一の肝疾患診療連携拠点病院であり、積極的に肝炎対策に取り組んでいます。

肝炎対策の推進に関する基本的な指針のうち、「国及び地方公共団体は、肝炎情報センター及び拠点病院の協力を得ながら、医療機関に対し、手術前等に行われる肝炎ウイルス検査の結果について、例えば電子カルテによるシステムを利用する等により、受検者に適切に説明を行うよう依頼する。医療機関は、肝炎ウイルス検査の結果について確実に説明を行い、受診につなげるよう取り組む。」とあり、当院でも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

本研究では、当院でB型肝炎ウイルス（HBV）あるいはC型肝炎ウイルス（HCV）感染に関するスクリーニング検査を受けられた患者さんの陽性率を評価するとともに、HBV感染あるいはHCV感染を認めた方を、当科への受診および治療につなげることを目的としています。

研究の方法

医療情報部でHBs抗原あるいはHCV検査を受けた患者さんを抽出いたします。

また、検査の結果が陽性であった方に対し、精密検査のため肝臓内科への受診についてお知らせいたします。

B型肝炎ウイルス（HBV）あるいはC型肝炎ウイルス（HCV）感染のスクリーニング検査における陽性率の評価をおこないますが、データの集計や解析を行う際には、患者さんの個人が識別不可能な状態で情報を取り扱います。

研究の期間

2021年6月1日～2028年3月31日

研究結果の公表

研究結果は、研究期間の途中においても肝臓関連の学術誌および学会で公表する予定です。

また HBV・HCV 感染者の拾い上げに関する前年度の結果について、島根大学医学部附属病院肝疾患相談・支援センターホームページに毎年掲載し報告を行います。

結果公表の際はいずれも、患者さんの個人が識別不可能な状態で情報を取り扱います。

研究組織

この研究は島根大学医学部で行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部附属病院 肝臓内科／肝疾患相談・支援センター 飛田 博史

参加研究機関

島根大学医学部附属病院

研究責任者

飛田 博史

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、当院で HBs 抗原あるいは HCV 抗体検査を受けてから半年以内までにお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

※なお、「研究の対象となる方」の①の期間に検査をされた方について、本文書の ver.1.0 において情報利用の停止を 2022 年 9 月 30 日まで受け付けておりましたが、既に解析・結果の公表を行ったため、情報の利用停止についてのご要望に沿えないことを申し添えます。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 肝臓内科／肝疾患相談・支援センター 飛田 博史

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284